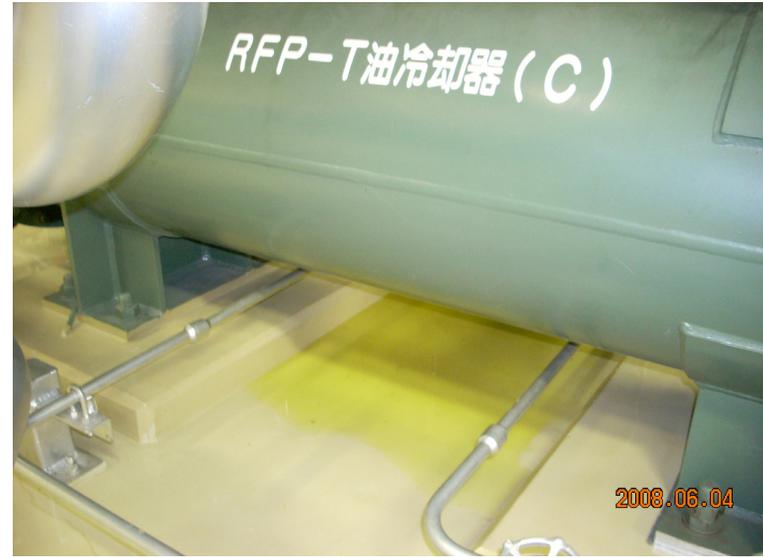


区分：

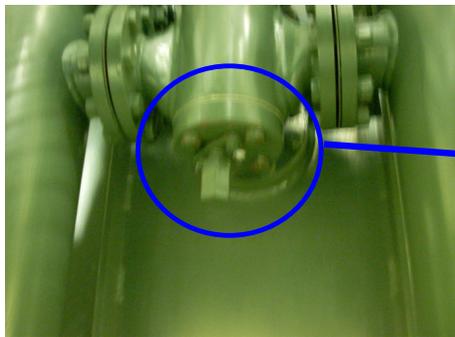
場所	6号機	
件名	タービン建屋(管理区域)における油漏れについて	
不適合の概要	<p>(事象の発生状況) 当所6号機は定期検査中ですが、平成20年6月4日午後5時30分頃、タービン建屋地下中2階の原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン(A)主油タンク*1室(管理区域)において、分解点検を行っていた原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン(A)軸受油フィルタ油切換弁*2の養生部の隙間から潤滑油が床に滴下(10秒に1滴程度)していることをパトロール中の当直員が発見しました。 その後、油漏えい防止のために追加で養生を実施したことにより、午後10時50分に漏えいは停止しました。 床に漏れた油は約1.5リットルで堰内にとどまっており、拭き取りによる清掃を実施しました。</p> <p>(原因) 油フィルタ切換弁の分解点検を実施するにあたり事前に油を抜いたものの、十分に抜けきれていなかったため、異物混入防止用を実施していた養生部の隙間から残油が滴下したものと推定しております。</p> <p>(安全性、外部への影響) 漏れた油には放射性物質は含まれておらず、本事象による外部へ放射能の影響はありません。</p> <p>*1 原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン(A)主油タンク 原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービンおよびポンプの軸受に供給する潤滑油を貯蔵しているタンク。 *2 軸受油フィルタ油切換弁 油を清浄にするために設置しているフィルタ(2系統)を切り換える弁。</p>	
安全上の重要度/損傷の程度	<p><安全上の重要度> 安全上重要な機器等 / その他設備</p>	<p><損傷の程度> 法令報告要 法令報告不要 調査・検討中</p>
対応状況	<p>今後、潤滑油の配管やタンクの点検にともない弁等を分解する場合は、残油の漏えいがあることを想定した養生を実施します。</p> <p>本事象は【中越沖地震】に関連する事象ではありません。</p>	



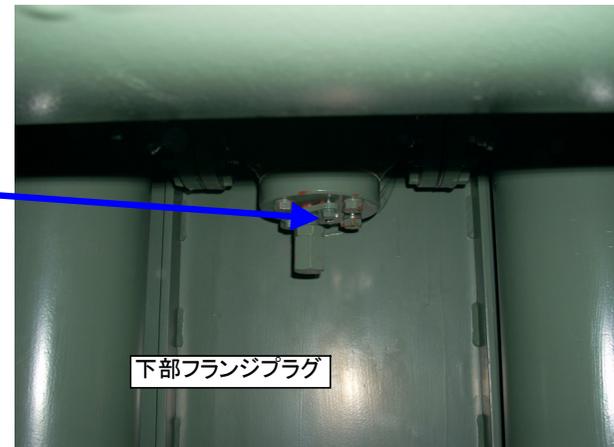
当該弁異物混入防止用養生状況



床漏えい状況



通常状態の切替弁下部フランジ部



潤滑油漏えいの現場状況